



地域協働学校・よつろく

運営協議会だより No. 1

令和2年6月 代表 作本 幸秋 校長 児玉 純

第1回 地域協働学校運営協議会の報告です。

6月11日（木）15:00～15:45 四谷第六小学校 会議室

◇委員紹介・委員委嘱◇

- ・新委員に木下委員（同窓会長）が着任されました。
- ・柴木淳子委員が退任されました。長い間ありがとうございました。



◇代表選出・挨拶◇

（ 代表挨拶 ）

- ・コロナ禍の中、子供たちへの対応等に先生方のご苦勞をされていることと思います。分散登校も始まり、いろいろ大変かと思いますが、子供たちのためによりしくお願いします。子供たちが落ち着いて学習できるよう、地協としても最大限の力を發揮して学校とともに進んでいきたいと思っています。

（ 副代表挨拶 ）

- ・学校と地域をつなぐことがスクールコーディネーターの役割でもあります。今までとは状況が違うので、これからは新しい生活様式を身に着けながら、安全に考慮して子供たちの見守り、また親や先生ではない立場で接する大人として、皆が健やかに育つよう見守っていききたいと思っています。

◇校長より◇

- ・3月から休校が続きましたが、地協や地域の皆さんに見守り等ご協力いただき、ありがとうございました。6月になって分散登校が始まり、午前組は3時間授業後給食を食べて下校、午後組は給食を食べ、3時間授業で下校です。登校して入り口で熱のチェックと後教室に上がるようにしています。
- ・授業中は話しかけない、お喋りしないことになっているので非常に静かです。
- ・1学期は8/7（金）まで。夏季休業は8/8～8/25までです。
- ・学校要覧ができました。教職員一覧をご覧ください。1年生もだいぶ慣れ、「さようなら」と言いながら校長室の前を通る様子は学校生活が身に付いてきたように思います。今年一年お世話になりますがよろしくお願いします。

◇自己紹介◇

○ 委員

- ・分散登校で、午後スタートの子は給食を食べてから授業なので、眠くなってしまうという声を聞きました。子供たちは学校から帰った後は元気に大京町公園で遊んでいる姿を見かけます。
- ・大京町の盆踊り大会（8/23、24）ですが、中止を決めていたところ区からもう少し様子を見て決定してほしいということで、保留になっています。ラジオ体操は中止です。

○ 委員

- ・四六小は地域と密接に連携して運営しているのではないかと思います。これからもそれを生かして続いていってほしいと思います。

○ 委員

- ・現在は在宅で勤務しています。IT系の授業にも携わっているので学校のシステムで協力できることがあればお声掛けください。

○ 委員

- ・今後第2波、第3波を考え学習をどう進めていくのか、子供たちが平等に学習を受けるにはどうしたらよいのか考える必要があると思います。学校が始まり、徐々に日常生活が戻ってきていますが、PTAとしても学校側と協力していろいろなことに対応していきたいと思っています。

○ 委員

- ・学校が始まりましたが、安心安全の活動がないので緑支援にコンバートして芝刈りをしています。

○ 委員

- ・自粛期間中、子供たちが街の中にいないとこんなに寂しい状況になってしまうのかとつくづく感じました。今後、先生方にも気を付けていただきたいと思うことは、コロナの影響で仕事が無くなる親御さんが出るなど、家庭環境の変化が突然やってくるということも十分予想されるということです。

○ 委員

- ・分散登校の初日と今日授業参観しました。初日はピリピリした緊張感がありましたが、今日はとてもよい顔をして授業を受けていました。学校は始まりましたが、保護者会がないので1年生や転入生の保護者は孤独感や不安感が強いと思うので、解消する手立てが見付かればと思います。

◇経営方針◇

- ・学校経営計画は昨年と大きく変わっていません。コロナの影響でオリンピックや新学習指導要領に向けての取り組みという2本の大きな柱がありましたが、大きな変更の中で4月がスタートしました。とは言え、四六ですので国立競技場やオリンピックを頭において活動していかないといけないと思っています。
- ・学年担任制を一部取り入れ、教科を分担して授業を行い学年全体で子供たちをみていきます。
- ・1学期に予定していた大きな行事は中止しました。秋には95周年の大きな行事も予定にはありますが、区の方針が出ないとわからない状態ですので、方針が出たら皆さんにご相談したいと思います。
- ・現在玄関で一人一人熱を測ってから教室に行くので、そこであいさつを交わしています。昨年よりも子供たちのおはようという声は何十倍も増えているので、このまま継続できればと思っています。やはり一番は、明日も学校に来たいと思える学校にしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

◇学校の様子◇

○ 主幹教諭

- ・休校中の過ごし方で子供たちの差が大きくなっています。生活面できちんとしていた子は学習面の課題にもきちんとして取り組みますが、3か月間何もしなかった子は学校に来て生活指導のみで、同じ学年なのに指導内容にも差が出ています。衝撃的だったのは体育をした翌日、筋肉痛で動けない子がたくさんいたことです。学校に来て体を動かすということはとても大切だと思いました。
- ・区から5、6年生の希望者にタブレットが配布されました。学校で使い方を教え、皆が使える状態にして、コロナの第2波に備えて様々な学び方を教えていきたいと思っています。

○ 主任教諭

- ・次に第2波、第3波となってきた時にどうやって課題を出して、ハード面で整えていくかが大きな課題であり工夫していく点だと思っています。また、学校が始まって子供たちが全員と会えない状況なので友達関係がすごく心配です。また、6年生は本来なら1年生のお世話をしたり、運動会で中心になったりすることで最高学年としての自覚が芽生えるので、3月までに何か工夫して育ていきます。

○ 校長より

- ・先程より、zoomやオンラインでの授業になどについて話題が出ていますが、我々なりに検討して判断しています。四六小は、急な対応ではなく、よいものに工夫して実施したいと思います。
- ・学校で、教職員や児童がコロナに感染して陽性が判明した時点から2週間学校閉鎖になります。直接ではなくその家族に陽性者が出たときは自宅待機になります。今どこでどう感染してくるか分からない状況なので本当にそれが一番心配です。突然2週間休校ということもあり得ますので、先程、担任から話があったネットを使った担任とのやり取りも準備を進めていこうかと思っています。

◇教育支援課 主査より◇

- ・昨年の活動のリーフレットができました。様々な課題に対し教育支援課でもどのようなサポートができるのか、今後も検討していきたいと思っています。